

分科会・委員会の審査概要

予算決算委員会から議案の審査を分担した各分科会と部門別に行われた各委員会の審査の概要は以下のとおりです。

総務

●みなし仮設入居者等交流会開催経費

みなし仮設住宅が市内各地に点在していることから、希望者が参加しやすいよう、会場の選定に配慮してもらいたい。



●土砂災害特別警戒区域からの移転促進

県の補助事業だが、本市には461ヶ所の土砂災害特別警戒区域があり、相当の対象住宅があると思われるものの、本事業は交付要件が厳しく利用実績が少ないことから、利用が促進されるよう、県に対し交付要件の緩和を要望してもらいたい。

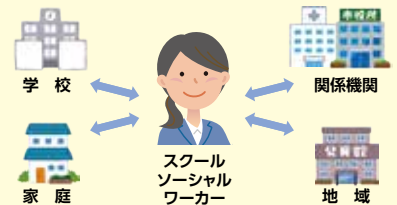
教育市民

●区のみちづくり推進経費

まちづくりセンターと連携した、さらなる質の高い市民サービスが提供できるよう、財政当局に対し、事業費の増額を要求してもらいたい。

●スクールソーシャルワーカーの人材確保対策

安定した支援が継続して提供されるよう、給与面や正規職員化等の処遇改善を求めたい。



厚生

●共生型サービス

障がい児者と高齢者が同一施設で共にサービスを利用できる共生型サービスの開始に伴い、施設の指定基準が見直されているが、利用者の声を十分聴き、サービス水準が低下しないようにしてもらいたい。



●重度心身障がい者(児)医療費助成

今後さらに助成対象者の増加が見込まれることから、財政部門と協議し計画的な予算の確保に努めるとともに、国・県に対して補助増額等を働きかけてもらいたい。

環境水道

●資源物持ち去り対策

持ち去り行為に対し、市として取り締まりに厳しい姿勢で臨むことを市民に広く周知するとともに、より厳しい罰則が適用されるよう、関係条例の整備に取り組んでももらいたい。

●全国都市緑化フェア開催準備経費

熊本地震からの復興を全国にアピールする絶好の機会と捉え、関係局と連携し、開催に向けた準備に万全を期してもらいたい。



経済

●熊本城ホール開業記念事業

開業に向けた市民の機運醸成イベントについては、市民意識の高揚につながるよう、開催回数やイベント内容を充実させる積極的な取り組みを求めたい。



●ジェーンズ邸の移築復旧

創建地への移築を切望する地元住民の賛同が得られないまま他地域へ移築推進されることは、大変遺憾である。引き続き、地元住民の理解が得られるよう、市として十分かつ丁寧な説明を求めたい。

都市整備

●民間建築物アスベスト改修事業

今般、国のガイドラインによるアスベスト調査の対象建築物が増えることから、アスベストによる影響及び除去等の補助制度について、わかりやすい周知啓発に努めるとともに、改修が促進されるよう制度内容の研究を求めたい。

●町並み復旧保存支援制度

基金を活用した本制度の利用促進が図られるよう、担当職員等の確保や対象地域への周知・広報に努め、早期の復旧に向け取り組んでももらいたい。



締めくくり質疑 (平成30年2月28日、3月20日)

熊本市職員の退職手当に関する条例等の一部改正

- 本改正案は、国家公務員退職手当法改正に準じたものであるが、労使交渉の期間が短く妥結に至らないままでの提案は、あまりにも拙速であり賛同できない。労使協議は、職員の労働条件等にかかる重要な場であり、協議期間を十分確保し、合意の上、提案すべきである。
- 震災による住宅再建等今後の生活設計への影響が懸念されることや政令市の多くが平成30年度実施を予定している状況に鑑み、本市においても平成30年度からの実施を求めたい。

平成29年度 熊本市国民健康保険会計補正予算

- 平成29年9月末に終了した被災者医療費一部負担金の免除措置
 - ・生活再建を優先させる被災者の中には、医療機関への受診を控える傾向が見受けられることから、地域支え合いセンター等による聞き取り調査や医療機関との連携による実態把握に努め、被災者が安心して必要な医療が受けられるよう医療費免除の再開を求めたい。
 - ・東日本大震災の被災地では、独自で医療費免除措置を継続している自治体もあること、早期治療により、中長期的に医療費が抑制され国保会計の負担軽減につながることを勘案し、免除措置の再開に向けた制度設計を検討してもらいたい。

平成30年度 熊本市一般会計予算

- 花畑町別館跡地利活用検討経費
 - ・公民連携の相手方として、隣接地権者である「みずほ銀行」との共同整備が検討されているが、市民や議会へこれまで十分な説明がないまま予算が計上されたことは誠に遺憾である。基本構想の策定にあたっては、公民連携以外の整備手法やコストも提示した上で、議会へ意見を求めるべきである。
 - ・公民連携整備事業については、これまでの事例において、民間主導を理由とした説明及び情報提供不足に繋がっており、適切な事業推進となるのかといった懸念がもたれる。今後は、議会において十分な議論が行われるよう、適切な資料提供とともに、丁寧な説明及び意見聴取を行ってもらいたい。
- 花畑町別館跡地整備をはじめ、桜町・花畑地区再開発や熊本城ホールの整備等、中心市街地の活性化に向けた整備事業に多額の費用負担が見込まれることから、長期的な財政見通しを作成し、市民や議会に提示してもらいたい。